

# 関西・食・輸出推進事業協同組合

## 複数品目

### 基本情報

対象国	東南アジア、アメリカ	輸出額	3600万円 (加工品のみ・令和6年度)	加盟者数	会員53社
主な販売先	外食・小売	活動地域	近畿2府4県 + 7 都県	品目数	複数
希望スキーム	直接輸出	備考			

## 「日本の“美味しい”で世界中を笑顔に！」を ビジョンに新しい食輸出のスタイルを創る

食輸出のプラットフォームとして、会員の需要創造、販売機会の提供、商流・物流のサポート、関連情報の提供、知識向上機会の提供など、輸出経験がない事業者でも、安心して食輸出事業に取り組める体制を構築。

### 団体概要

所在地	大阪府大阪市
設立年	2013年
事業内容	会員の海外販路拡大、輸出書類作成、代金決済 など
認証取得	-
生産規模	-



### 取組の経緯 / 概要

- ・2012年にALL関西「食」輸出戦略会議（近畿農政局、近畿経済産業局、近畿運輸局、ジェトロ大阪本部、ALL関西「食」輸出推進委員会（元関西エアポート、大阪府、関西経済連合会、大阪商工会議所））として、日本で初めての異業種の事業者が集まった協同組合を設立。
- ・2013年に関西・食・輸出推進事業協同組合（生鮮、加工品、外食等53社（2025年7月現在））として設立。2014年に関西フードエクスポート&ブランディング協議会（関西エアポート、三井住友海上火災保険、日本通運、サラヤ、住友銀行等）に加わり、輸出に取り組む。
- ・関西2府4県からスタートし、東京都、三重県、福岡県、鳥取県、愛知県、群馬県、石川県に広がってきている。

### 取組の成果

- ・輸出金額（加工品のみ）：3000万円(令和5年度) → 3600万円(令和6年度)
- ・商談会・展示会：第8回“日本の食品”輸出EXPO（令和6年6月）、2024 KIX AIRCARGO MEETING(令和6年11月)
- ・海外プロモーション：マレーシアでの日本の食材プロモーションと販売促進活動(令和6年10月)

# 取組のポイント

輸出経験がない事業者でも安心して食輸出事業に取り組めるようなプラットフォームを形成

## 輸出を進める上で抱えていた課題

TASK

課題  
1

海外に輸出をしたいがコストが合わずに困っている

TASK

課題  
2

海外に向けてどのようなPRをすれば良いかわからない

TASK

課題  
3

海外貿易事務を外注し営業に特化したい

## 輸出成功のポイント

非営利団体なので  
コスト安

協同組合は非営利団体。取扱手数料は他社と比べて割安なのでコスト安

海外販路・商談の場  
を提供

組合が持つ海外販路の共有関係機関と連携した多彩な商談の場を提供

貿易実務の代行

面倒な輸送手配、各種証明書取得などは組合が代行

# サプライチェーン別取組

海外バイヤーを招聘し  
産地見学を実施

- 海外バイヤーを実際に産地へ招聘し、製造現場・環境を知ってもらうことで、より深い商談へと繋げる

複数のオーダーを混載  
輸送し輸送コストを削減

- 各食品事業者へオーダーがあった商品を組合がまとめて混載輸送することで、貿易にかかる国際輸送費の削減を図る

現地で行われるフェアで  
商品を集中的にPR

- 現地レストランやスーパーで実施されるフェアにおいて、商材を絞って参加することで、集中的なプロモーションを実施

商品選定

流通

販売

## 今後の輸出拡大に向けて

組合員の増員により取扱品目を増やし、海外バイヤーの需要に応えることで輸出額の増加を目指す。また現状、東南アジアメインの輸出になっているが、輸出規制や輸入規制、認証等の高いハードルを越え、欧米諸国への輸出を目指す。